






## クイック接続ガイド

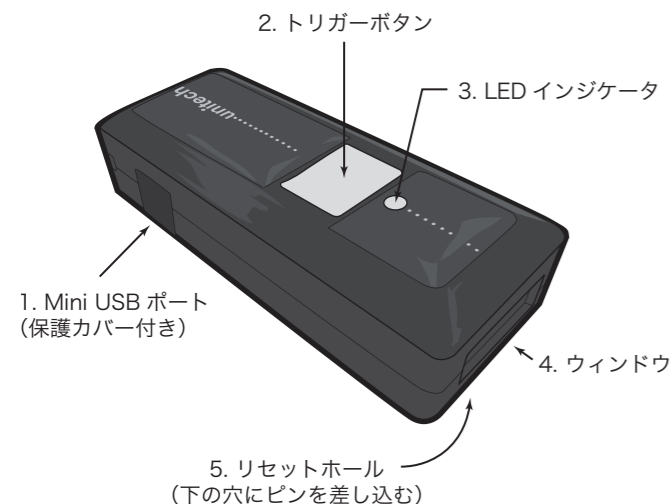
ご購入時の領収書や納品書等は大切に保管してください。修理などを行なう際の保証期間の証明になります。

## パッケージ内容

		
スキャナ本体	USB ケーブル	ハンドストラップ
		
クイック接続ガイド (本書)	Quick Guide	

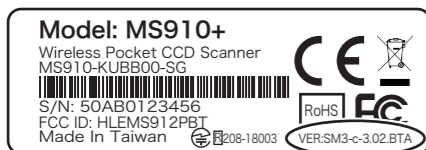
## 各部名称

## MS910+



## 本体バージョンの確認

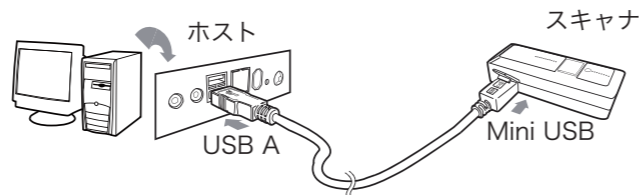
本体バージョンの確認は、スキャナ底部の製品ラベルをご確認ください。



本体バージョン

## 充電方法

パソコンなどの USB ポートに付属の USB ケーブルを接続し、もう片方を本器の Mini USB ポートに接続してください。



※充電中 (給電中) は本器の電源は常にオンの状態となります。また、本器の電源がオフの状態での充電 (給電) を開始すると電源は強制的にオンとなります。

## 動作表示

## LED とビープ音

状態	緑 LED	赤 LED	ブザー音
電源オン		2 秒点灯	1 回 (長)
バーコード読取成功	点灯		1 回
BT 接続成功	2 回点滅		2 回
BT 切断	3 回点滅		3 回
設定成功	点灯		2 回
非接続時のバーコード読取	点灯		3 回 (短)
パスコード入力モード未終了			6 回 (短)
データをメモリに保存	点滅		2 回 (短)
バッテリー残量警告		点滅	5 回
通信モード変更	点滅	点滅	2 回
充電中		点灯	
充電完了			
スタンバイ			

※ BT = BLUETOOTH(R)

※ 通信モード変更は、赤 LED と緑 LED が数回交互に点滅し、その後ビープが 2 回鳴動します。

※ バッテリー残量が十分にある場合は「赤消灯」となります。

※ 緑と赤のランプは独立して動作しています。「赤点灯」+「緑点滅」は、「充電中」+「BT 切断」状態となります。

## バーコードの基本的な読取り方

読取り光 (赤い光) が、バーコードの全ての棒と空白を横切るようにしてください。

※読取りにくい場合は、トリガーボタンを押し続けたまま、バーコードとスキャナの距離を調整してください。



## 使用前に必ずお読みください

本書に掲載された内容において、すべての機器との間で接続を保証するものではありません

最新の情報は弊社 Web ページにて掲載しております

## ●本書内では次の呼称が使用されています

本器	= MS910+
ホスト機器	= スキャナを接続するスマートフォン等
iOS	= iPhone や iPad の基本ソフトウェア
iOS 機器	= iOS が搭載されている機器の総称
Android 機器	= 一般的にスマートフォンと呼称されている、基本ソフトウェアに Android が使用されている機器の総称

## ●ホスト機器の更新について

正常に動作している状態でも、ホスト機器の OS 更新や使用されているアプリの更新などによって、正しく動作しなくなる場合があります。ご注意ください。

## ●ご購入後は、必ず充電を行ってからご使用ください

ペアリング作業を行う前に 2 時間以上の充電を推奨しております。

## ●本器を使用するには、[HID] または [SPP] に対応した Bluetooth がホスト機器に搭載されている必要があります

ホスト機器の HID または SPP への対応可否については、ご使用者様ご自身にてご確認ください。

## ●本器を使用するには、本器とホスト機器をペアリングする必要があります

ペアリング作業を行う際には、ホスト機器の取扱説明書も併せてご確認ください。

## ●富士通製および東芝製の Android 機器について

正常に接続できない、接続できても正常に動作しない場合が確認されているため、動作対象外とさせていただきます。

## ●バーコードデータの欠落について

Safari, Chrome, Internet Explorer などに代表されるブラウザのテキストボックスや、アプリのテキストボックスへバーコードのデータを出力するとデータが欠落して表示される場合があります。その場合は、文字間遅延を最大の 16 ミリ秒に変更してください。この設定を行っても改善されない場合は、データを表示しているアプリそのものにデータ処理の問題が発生している可能性があります。

## ●水濡れや結露には十分ご注意ください

水濡れや結露等が原因の障害は保証を受けられない場合があります。本器の保護等級は [IP5X] 相当です。

## 最新ドキュメントのダウンロードについて

当社 Web サイトには本書を含めた様々なドキュメントの最新版を掲載しておりますので、お問い合わせ頂く前に一度ご確認ください。

本書記載の設定バーコードやその他の設定バーコードなどは、ユーザーマニュアルに掲載されております。

※Google Chrome での閲覧およびダウンロードは正常に行えない場合があります。

※PC 以外での閲覧およびダウンロードはサポートしていません。

当社 Web サイト: <http://jp.ute.com/>

## お問い合わせについて

本器に関するお問い合わせは、以下の①～⑥の情報を記載のうえ、[お問い合わせ先] までご連絡ください。

- ①お名前
- ②お電話番号
- ③本器名 (MS910-KUBB00-SG)
- ④本器のシリアルナンバー (製品ラベルの [50AB????????])
- ⑤ホスト機器名 (正式名称)
- ⑥詳しいお問い合わせ内容

※迷惑メール設定等を行なっている場合は、[unitech-japan.co.jp] のドメインを受信できるように設定しておいてください。

※数日たっても返信がない場合は、迷惑メールフォルダなどに当社からの返信メールが入っていないかご確認ください。

お問い合わせ先: [info@jp.ute.com](mailto:info@jp.ute.com)

## 保証・修理について

## 標準保証期間

保証書に記載されている保証規定に基づき、保証期間内に発生した障害は無償にて修理対応させていただきます。

スキャナ本体	ご購入後 1 年
その他アクセサリ類	ご購入後 3 ヶ月

## 初期不良について

初期不良対応期間中に発生した不具合につきましては、初期不良として交換対応させていただきます。

必ず、初期不良対応期間中にお電話またはメールにてご連絡ください。当社への事前のご連絡を確認できない場合には、初期不良による交換対応はできかねますので、あらかじめご了承ください。

初期不良対応期間	ご購入後 14 日
----------	-----------

## ●初期不良対応の適応外について

- ・お客様の過失による破損
- ・製品の性能や相性による不具合
- ・箱や付属品の破損・欠品がある場合

## 商品の返品について

商品をご購入いただいた販売店へご相談ください。当社から直接ご購入いただいている場合は、担当者へご連絡ください。

## 修理について

製品不具合時には、下記の書類を同梱して当社までお送りください。

- 保証書
  - 納品書などご購入日のわかるもの
  - 修理依頼書
- 修理依頼書は、Web 掲載のものを印刷してご利用頂くか、  
●氏名 ●住所 ●電話番号 ●メールアドレス ●障害内容を記入したメモを同梱してください。

※送料は、発送時はお客様、返送時は弊社負担とさせていただきます。  
※有償修理となる場合は、事前にお見積りを提出させていただき、お客様のご了承を得てから修理進行を行ないます。(見積費用はいただいております)  
※お客様が行なった設定等は全て初期化されます。  
※製品に貼付けてあるシール類は破棄される場合があります。

修理依頼書のダウンロードや送付先は以下のページをご確認ください

<http://www.unitech-japan.co.jp/service/>

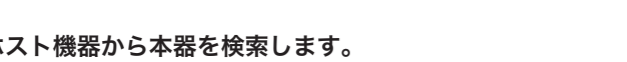
# 1 ホスト機器とペアリング

- ホスト機器の取扱説明書も併せてご確認ください。
- 本書の接続手順は、一例です。全てのホスト機器において同じ画面構成や操作手順とは限りません。特に Android 機器は機種毎に操作方法が異なりますので、個別の操作設定などはお客様ご自身でご確認ください。
- 一度ペアリングを行った後に、もう一度ペアリングを行おうとしても、「Wireless Scanner」がホスト機器に表示されない場合は、ホスト機器にペアリングの情報が残ったままになっています。ホスト機器のデバイスリストから「Wireless Scanner」を削除してから、再ペアリングを行ってください。

- 1 ホスト機器の Bluetooth を「オン」にします。
- 2 本器のトリガーボタンを長押しして電源をオンにします。  
※「ピー」という大きな音が鳴って、緑のランプが点滅し始めます。緑のランプが点滅しない場合は、次のバーコード読み取ります。  
※すでに電源がオンの場合は音は鳴りません。



- 3 本器を使用して次のバーコードを上から順に読み取ります。



- 4 ホスト機器から本器を検索します。
- 5 ホスト機器から本器へ接続します。  
※ホスト機器に表示された「Wireless Scanner」をタッチ（ダブルクリックなど）します。  
※本器が表示されない場合は、次の項目をご確認ください。
  - ホスト機器にペアリング情報が残っていないか？
  - 本器の電源がオンになっているか？
  - 「通信切断 / ペアリング情報削除」バーコードを読み取ったか？

- 6 パスコードを入力します。(必要な場合のみ)  
※ホスト機器にパスコードの入力要求が表示された場合は、本書内の「本器でパスコードを入力する方法」を参考にしてください。

- 7 ペアリングの完了。  
※本器から「ピピピ」と音が鳴って、LED インジケータの緑ランプが消灯したらペアリングの完了です。  
※ペアリングが失敗した場合は、手順 1 からやり直してください。  
※ペアリングが失敗する場合は、次の項目をご確認ください。
  - 本器の電源がオフになっていないか？
  - ホスト機器が「HID プロファイル」に対応しているか？
 ※HID プロファイルに対応しており、HID モードで接続できない場合は、HID モードの代わりに、クイック設定バーコードの HID マウスをお試しください。


Android の場合、ペアリングが完了している表示になっているにもかかわらず、本機の緑ランプ点滅が停止せず、ピピピという接続音もしない場合は、Wireless Scanner をもう一度タッチしてみてください。

# 2 ホスト機器の入力状態を変更



- 本器からのデータを正常に取得するには、ホスト機器の文字入力状態を、【直接入力（半角英数入力）】に変更しておく必要があります。  
※【日本語入力】や【ローマ字入力】のような「漢字変換（文字変換）」が可能な入力方法ではスキャナからのデータを正常に取得できません。  
※バーコードデータの最後に改行しない原因のほとんどは、ホスト機器の文字入力状態が【日本語入力】または【ローマ字入力】になっているためです。
- 本書の設定手順は、一例です。全てのホスト機器において同じ画面構成や操作手順とは限りません。
- Android 機器のなかには、日本語入力が可能なキーボードを使用する限り、正常なデータを取得できない機種もあります。


**Windows の場合：**

キーボードの [半角 / 全角] キーを押して【直接入力（半角英数入力）】へ変更します。



※使用している文字入力ソフトウェアに従って、適切な操作を行ってください。

- iOS の場合：**
- 1 本器で [ダブルクリック機能 有効] を読取ってください。  
※この設定は、設定値の初期化を行なうまで保存されます。
- 
- ダブルクリック機能 有効**
- 2 [メモ] などの文字入力可能なアプリを実行してください。  
※アプリ実行後、文字入力ができる状態にしておいてください。
  - 3 本器のトリガーを素早くダブルクリックしてください。  
※本器が鳴動して、iOS 機器の画面にキーボードが表示されます。  
※本器が鳴動してもキーボードが表示されない場合は、iOS 機器が文字入力ができる状態になっていないか、通信が切断されている可能性があります。
  - 4 キーボードの  をロングタッチして [English(US)] を選択してください。  
※iOS 8 以上では [設定]-[一般]-[キーボード] の順にタップして、[英語] の [予測] もオフにする必要があります。  
※[English(US)] が表示されない場合は、[設定]-[一般]-[キーボード]-[キーボード]-[新しいキーボードを追加...] から、[英語] キーボードを追加してください。

- Android の場合：**
- 1 [メール] や [Chrome] などの文字入力可能なアプリを実行してください。
  - 2 本機で [一時切断] を読み取ってください。  
※本バーコードの読取りによって、20 秒間通信が切断されます。20 秒間が経過すると、自動的に再接続されます。
- 
- 一時切断**
- 3 画面キーボードの入力方法を変更してください。  
※一時切断されている間は、画面キーボードを使用することができます。その間に画面キーボードを半角直接入力に変更します。  
※半角直接入力への変更方法は、文字の入力に使用している画面キーボードごとに異なります。

# 3 バーコード読取り確認

- 1 本器とホスト機器が適切に接続されていることを確認します。  
※本器の LED インジケータが緑点滅している場合は、正常に通信できていません。
- 2 ホスト機器が文字入力可能な状態で、入力状態が【直接入力】であることを確認してください。  
※Android 機器では、機種やキーボードの種類によって【直接入力】となる条件が様々です。画面にキーボードが表示されていればよい場合や、キーボードから入力種別を [数字] に変更しなければならない場合もあります。適切な方法を選択してください。
- 3 次のテストバーコードを読取ります。  
TEST とホスト機器に表示され、データの最後に改行（または実行）されれば全ての設定は完了です。



▶データが表示されない場合  
ペアリングが完了し、バーコードの読取りも正常にできているにもかかわらずデータがホスト機器に表示されない場合は、一度ホスト機器を再起動してみてください。

▶【ハードウェア】の使用できない Android 機器について  
日本語入力に対応していない英語キーボードに切り替えてください。ほとんどの Android 機器では、[google キーボード] に代表される、日本語入力に対応していない英語キーボードがプリインストールされています。  
※英語キーボードが無い場合は、ご自身の責任において Play ストアなどから英語キーボードをインストールしてご使用ください。  
※サードパーティアプリのインストールや使用において生じたいかなる損害やトラブルも、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## 本器でパスコードを入力する方法

ホスト機器の画面にパスコードが表示された場合は、本器で下記バーコードを読取ってパスコードを入力します。例えば、ホスト機器の画面にパスコードとして【2015】が表示されている場合は、次の順番に本器でバーコードを読取ってください。


パスコード開始 ▶ 2 ▶ 0 ▶ 1 ▶ 5 ▶ ENTER ▶ パスコード終了

	2		0
	1		6
	0		7
	1		8
	5		9
	ENTER		0
	ENTER		0
	パスコード終了		パスコード終了

# クイック設定バーコード

※掲載されている設定バーコードは、本器で設定可能な一部です。  
※設定値の詳細についてはユーザーマニュアルをご確認ください。  
※下線の設定は、工場出荷デフォルトの値です。

**設定値の初期化**  
本器のバーコード設定を初期化します。  
Bluetooth の接続設定には影響を与えません。



**工場出荷デフォルト**

**バージョン表示**  
本器の本体バージョンをホスト機器に表示します。




**バージョン表示**

**強制パワーオフ**  
[パワーオフ] を読取ると、本器の電源がオフになります。




**パワーオフ**


**ビーブの消音モード**  
本器は次の 3 種類のビーブ消音をサポートしています。



**全ての音を鳴らす**




**エラー音のみ鳴らす**




**全ての音を鳴らさない**


**ターミネータ**  
ターミネータは、本器が出力するデータの最後に付加されるコマンドです。



**Enter**



**Tab**



**なし**

**文字間遅延**  
バーコードデータの欠落が発生する場合に設定してください。



**16 ミリ秒**

**通信プロファイル切り替え**  
HID モードで接続できない場合に設定してください。



**HID マウス**